

ソトダン21 新年研修会

周壁の表面温度が 快適性のカギ



斉藤氏

札幌市立大の斉藤氏が講演

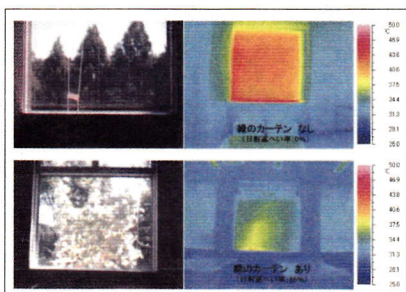
ウレタンボードの外張り断熱で健康・省エネな家づくりを進めているソトダン21(竹口祐司会長、㈱竹口組社長)では、去る16日に新年研修会を札幌市内で開催。札幌市立大学准教授の斉藤雅也氏が「ヒトの健康に関わる周壁面からの温・冷放射エクセルギー」と題して講演を行い、周壁等の表面温度を適切にコントロールすることが、快適な室内環境を創るポイントになると紹介した。

当日は、冒頭に竹口会長が「4月に改正省エネ基準が完全施行となるなど、住宅業界も新しい局面を迎えることになる中、この1年間お客様の暮らしを豊かにできる家づくりを会員みなさんと一緒に進めていきい」と挨拶。続いて斉藤氏が講演を行った。

斉藤氏は、ほどよい暖かさ・涼しさが得られる快適な室内環境を創るためには、周壁や窓・床・天井の表面温度を、

冬は室温空気温度より高く、夏は低くすることが大切と説明。「人間は代謝による体内の熱の生産・消費速度が速いほど不快に感じる。そうならないようにするためには周壁等の表面温度をうまくコントロールすることが必要で、検証結果によると冬であれば室温18℃で周壁等の表面温度が25℃の状態が、最も人体への負荷が少なく、非常に快適な空間になる。周壁等の表面温度は床暖房やパネルヒーターなどでコントロールする手もあるが、しっかり断熱された躯体を造ることが一番重要」と、周壁等の表面温度をコントロールするには高断熱な躯体が前提となることを強調した。

この後、北海道大学大学院助教の菊田弘輝氏が「再生可能エネルギー利用促進を図ったパッシブ換気住宅」と題して太陽熱や薪ストーブを利用したパッシブ換気住宅の室内環境調査結果を報告したほか、㈱マツナガが太陽熱集熱パネル「ソーラーウォーマー」、リンナイ㈱がヒートポンプとエコジョーズを組み合わせたハイブリッド給湯・暖房システム、㈱キムラが自社で開発・販売する住宅資材を使ったナチュラル系提案住宅「Skogの家」について、それぞれ説明を行った。



植物のカーテンを屋外に設置したことで、夏季の窓表面温度が下がった例(講演資料より)



ご案内

1月31日 伊達

断熱と太陽熱のハイブリッド

住まいの公開セミナー「断熱と太陽熱のハイブリッド～北海道のために住宅ができること～」が、今月31日(土)13:30から16:00まで、道南・伊達市の伊達信用金庫コスモスホール(伊達市梅本町39-1)で開催される。小松建設㈱とOMソーラー㈱の主催。

住宅とエネルギーのより良い関係について、東京大学准教授の前真之氏が基調講演を行うほか、パネリストに前

氏とOMソーラー小松建設社長、ネーターに北明氏を迎え、「暖房住宅」も実施する。

参加希望者FAXで送付お問い合わせ23-2043、F

2月5日旭川・16日帯広・20日札幌

混構造住宅の設計セミナー

木造とRC造の混構造住宅を対象とした「混構造住宅構造設計セミナー」が、2月に札幌、旭川、帯広で開催される。(一社)北海道建築技術協会の主催。

このセミナーでは1階をRC造、2・3階を在来構法または2×4工法とした3階建て住宅を例に、構造設計(構造計画・構造計算)の基本的な考え方と実務的な要点について解説。

日程・会場は、2月5日(木)=旭川・旭川地場産業振興センター、16日(月)=帯広・帯広経済センタービル、20日(金)=札幌・北海道自治労会館。時間は15:00～17:30(旭川のみ14:30～17:00)。受講希望者は申込書を各開催日の1週間前までFAXする。受講無料。

問い合わせは同協会へ(☎011-251-2794、FAX011-251-2800)。

ホームページ・<http://www.hobeia.or.jp>

札幌・帯広道産家2×

なお、札幌で13:00から開催による「木」も行われる。

同会が取り壁工法のため、VAN

大学院特任教授 受講希望者週間前まで電

講無料。お問い合わせ井氏へ(☎0電子メールac.jp

省電力小型モーターでCO2削減。省エネSPFO.1W/m²を達成!!

DCエンジェル Angel

50円/月
毎月の電気代

低騒音
13dB

<http://www.hobeia.or.jp>